

絆

題字
新潟市教育委員会
前田秀子教育長

新潟市
青少年育成協議会

第11号
(設立60周年記念号)

●発行●
令和3年1月14日

●事務局●
新潟市教育委員会
地域教育推進課

新たな活動に向けて



新潟市青少年育成協議会
会長 関川 弘雄

明けましておめでとうございます。

例年とは異なった新年を迎えられた方も多いことと思います。令和二年春に突然、新型コロナウイルスの発生が報じられ、感染予防のため学校休校、地域活動の自粛など様々な対策が求められました。皆様の地域でも青少年の健全育成の取組に色々な支障があったと思います。

新潟市青少年育成協議会（以下、当会と略す）でも理事会、総会など予定された諸行事が中止となり、書面表決に代えて対応するなど種々の措置を取らざるをえませんでした。

令和二年は当会の設立六十周年に当たり記念事業を計画し、実行委員会を立ち上げ協議を重ねてきました。コロナ禍の中にあつて開催を危ぶむ意見もありましたが、コロナ感染予防を徹底して記念式典を十一月二十八日（土）白根学習館ラスベックホールで挙行いた

しました。

当日は、新潟市長 中原 八一様、新潟市教育委員会教育長 前田 秀子様、新潟県青少年健全育成県民会議会長 薄田 泰元様のご臨席をいただき、また、地域で青少年の健全育成にご尽力いただいた二百四十余名の皆様の出席のもと記念式典が開催されました。記念事業として志民委員会 事務局長の肥田野 正明様より「What's NiiGATA」みんなで笑顔あふれる新潟をつくろう」と題してご講演をいただき、当会の今後の活動に役立つ有意義な意見を拝聴できました。その後、「家庭・学校・地域がワンチームで子どもを育てる」というテーマで、パネルディスカッションが行われ、健全育成活動の経験に基づいた多くの意見が報告されました。

令和二年の年末になつても新型コロナウイルスは、感染拡大が懸念されました。青少年の健全育成活動もこれまでの方法とは異なる、コロナ感染予防に対応した新しい活動が求められています。新たな活動に向かつては、皆様と一緒に構築していく必要があります。今後とも皆様のご意見・ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和二年度

県・市功労者表彰受賞者紹介

青少年健全育成功労者新潟県知事表彰

味方地区 堤 美幸様

味方地区青少年育成協議会で、長年にわたり、会長や顧問を務めています。また、新潟市青少年育成協議会の理事や副会長を八年間務め、青少年の健全育成に貢献しました。

大江山地区 山倉 茂美様

大江山地区青少年育成協議会で、長年にわたり、会長を務めています。また、新潟市青少年育成協議会の理事や副会長を十二年間務め、青少年の健全育成に貢献しています。

秋葉区青少年育成協議会様

各ブロック青少年健全育成会相互の連携・協力のもと、地域全体で健全育成や非行防止への関心と実践の機運を高める活動を行っています。

新潟県青少年健全育成県民会議会長表彰

宮浦地区 水本 直弥様

宮浦中学校区青少年育成協議会で、理事や会長を長年務めています。また、新潟市青少年育成協議会の理事を十一年間務め、非行防止や健全育成に貢献しています。

新潟市青少年育成協議会 功労者表彰

光晴地区 松田 正實様

光晴中学校区地域教育会議の会長として、地域と学校をつなぐ会の立ち上げに尽力し、長年にわたり、会の運営・発展に貢献しました。

東新潟地区 渡辺 正秀様

東新潟地区青少年育成協議会の副会長を長年務め、地域・保護者・学校が一体となった育成協議会の振興に貢献しています。

小針地区 小柳 武様

小針中学校区青少年育成協議会の会長として、長年にわたり、数々の活動を企画・運営し、児童生徒の健全育成に貢献しました。

小新地区 丸山 勇様

小新中学校区青少年育成協議会の環境整備部長として、長年にわたり、中学校の通学路の安全確認や清掃など、町内の安全と美化に貢献しています。

五十嵐地区 岩城 文夫様

五十嵐中学校区青少年育成協議会の副会長や会長を長年務め、地域の青少年の健全育成活動の活性化に貢献してきました。

坂井輪地区 梨本 恵子様

坂井輪中学校区青少年育成協議会の副会長として、長年にわたり、地域の子どもの活動支援を中心に、地域活動の活性化に貢献してきました。

白井棒踊り振興会様

ふるさとのよさを学ぶ小中学校の特色ある教育活動に協力し、郷土芸能「白井棒踊り」を小中学生に指導し、地域を愛する青少年の健全育成に努めています。

受賞おめでとういっしょにがんばらね。

成 協 議 会 設 立 6 0 周 年

十一月二十八日（土）、白根学習館ラスベックホールにおいて、新潟市青少年育成協議会設立六十周年記念式典・講演会・パネルディスカッションを開催しました。

記念式典では、来賓として、新潟市長 中原 八一様、新潟市教育委員会教育長 前田 秀子様、新潟県青少年健全育成県民協議会長 薄田 泰元様からご臨席を賜りました。

講演会では、志民委員会事務局長 肥田野 正明 様から、「What's Niigata ～みんなで笑顔あふれる新潟をつくらう～」と題してご講演をいただきました。新しい発想で新潟のまちづくりに取り組む講師の姿に感銘を受けました。新潟への熱い思いが伝わってきて、エネルギーと



式 典



「開会の挨拶」 新潟市青少年育成協議会会長 関川 弘雄 様



「来賓祝辞」 新潟市長 中原 八一 様

パネルディスカッション

テーマ
「家庭・学校・地域が
ワンチームで子どもを
育てる」



コーディネーター
新潟大学教職大学院
准教授 雲尾 周 様



パネラー
新潟市小中学校PTA連合会
副会長 長谷川 瑞 様



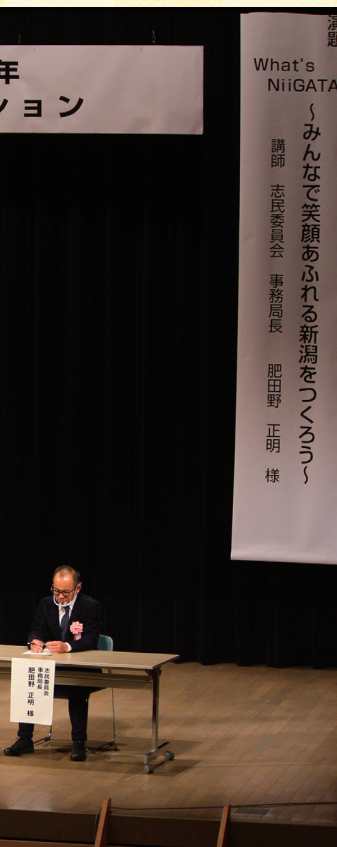
パネラー
新潟市青少年育成協議会
副会長 郷 扶二子 様



パネラー
新潟市立石山中学校
校長 阿部 修 様



パネラー
志民委員会
事務局長 肥田野 正明 様



祝 新潟市青少年育成



刺激をいただいた講演会となりました。
 パネルディスカッションでは、「家庭・学校・地域がワンチームで子どもを育てる」をテーマに話し合いました。各パネリストがそれぞれの立場でワンチームを語っていただけ、立場の違いを超えた協働の手がかりをいただいたようなパネルディスカッションとなりました。
 青少年を育む地域づくりに向けた活動の重要性を再確認し、今後の活動への意欲と決意を新たにしました記念事業となりました。

記念



講演会

演題
 「What's NiiGATA
 ～みんなで笑顔あふれる
 新潟をつくろう～」



講師
 志民委員会
 事務局長 肥田野 正明 様



テーマ「家庭・学校・地域がワンチームで子どもを育てる」
 コーディネーター 新潟大学教職大学院 准教授 菅 隆 様
 パネラー 新潟市小学校PTA協議会 副会長 長川 洋子 様
 新潟市立山形中学校 校長 阿部 祐 様
 新潟市立山形中学校 教員 正野 正明 様
 新潟市立山形中学校 教員 榎 穂 様

わたしの主張 新潟市地区大会

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発表の場は設けず、作文審査による選考で行いました。臨時休校や夏休み期間短縮の影響がある中、市内六九〇二名の作品の中から選ばれた九作品が審査されました。各作品とも、日ごろから考えていることや地域社会で体験したことにもとづいて中学生らしい内容でした。

八月二十四日(月)に行われた審査の結果、各賞が決定しました。

最優秀賞の曾野木中学校一年早川杏さんは、新潟市地区代表として、九月十九日(土)に十日町市越後妻有文化ホールで開催された新潟県大会に出場し、奨励賞を受賞しました。

新潟市地区大会の結果

*敬称略 *優秀賞・奨励賞は、学番順

| 賞 | 学校名 | 学年 | 氏名 | 題名 |
|------|----------|----|-------|--------------------|
| 最優秀賞 | 曾野木中学校 | 1 | 早川 杏 | リフカと旅して |
| 優秀賞 | 南浜中学校 | 2 | 引木 花 | 活気あふれる南浜地域にするために |
| 優秀賞 | 東石山中学校 | 3 | 今泉 百葉 | 関わることは生きること |
| 奨励賞 | 南浜中学校 | 3 | 浅井 真優 | 食事から笑顔に |
| 奨励賞 | 早通中学校 | 3 | 神田 千幸 | 「早中総踊り」に生きる |
| 奨励賞 | 月瀧中学校 | 3 | 原 愛鈴 | 障がいをもつ人への差別について考える |
| 奨励賞 | 坂井輪中学校 | 2 | 三河 望美 | できないことから学ぶ |
| 奨励賞 | 坂井輪中学校 | 3 | 佐藤 花 | 個性 |
| 奨励賞 | 高志中等教育学校 | 3 | 岳 みなと | エコバッグについて考える |

新潟市地区大会最優秀賞



新潟市立曾野木中学校

一年 早川 杏

「リフカと旅して」

皆さんは「リフカの旅」というお話を知っていますか。リフカは、今から約百年ほど前に実在したユダヤ人の少女です。彼女が十二歳の時、一家はロシア人からの迫害を逃れ、ウクライナから自由の国アメリカへの亡命を決意しました。この物語は、リフカがアメリカに渡るまでの様々な出来事を描いた作品です。

私は昨年の夏、所属している劇団の公演でこのリフカを演じ、いわばリフカとともにその人生を旅しました。その「旅」の中で、私はたくさんのお話をリフカから学びました。

時代は、第二次世界大戦前後。ヨーロッパ中が不安定な空気に満ちあふれている頃です。リフカの旅もすんなりとはいきません。本当に様々な困難を乗り越え、ようやくアメリカに行けると思ったら、「白癩」という病気にかかってしまったリフカは、たった一人ベルギーに残されてしまいます。「白癩」は皮膚病の一種で、湿疹ができて、激しいかゆみなどに襲われる病気です。リフカも髪の毛がすべて抜け落ちてしまいました。家族と離れ知らない土地に残されたリフカ。わずか十三歳の少女。今の私と同じ年です。

ようやく病気が治り、アメリカへの渡航が許可されますが、髪の毛は生えてこないと……。しかし、その外見のせいで、アメリカの入国審査官は、リフカの入国を拒否しました。ですが、周囲の人たちはリフカのことを見ていました。人のために献身的に働く姿。僅かな期間で幾つもの言語が流暢に話せるようになる語学力。人の心を動かすような詩を書ける、文学的な才能。それらを認められて、リフカはアメリカへの入国を認可され、夢にまで見た家族と再会することができました。

私もリフカと同じです。リフカは髪の毛がない頭。私は左脚のほとんどを覆うあざ。このあざは生まれたときからあります。生まれつきなので私

は気にしていませんが、このあざを気にして、私に聞いてくる友達もいました。

「そのあざ、どうしたの?」

「生まれつきなんだよ。」

「痛かったりするの?」

「うん、痛くないよ。」

と伝えると、理解してくれます。また、あざのことだからだったり、意地悪なことを言われたこともほとんどありません。私の身近な人はみな、この脚のあざは、私の個性だと認めてくれています。それは「私」という人間をよく知ってくれているからでしょう。しかし、このあざを初めて目にした人は、やはり驚くようです。

「女の子なのに、かわいそうね。」

「そのあざ、治るの?」

とか、一見優しい言葉に聞こえますが、興味本位で聞いているのではないかと思うときもあります。リフカも、髪の毛がないという偏見から、結婚できないとか、国家の負担になるとか思われました。私の脚は治るものではないけれど、だからといって生活に困るものでもありません。私は私、何も変わりません。このあざを含めて「私」という人間なのです。

世の中には、いろいろな人がいます。背の高い人低い人、肌の白い人黒い人、髪の毛のある人ない人……。でも、人間の本当の価値はその人の外見ではなく、その人がどう生きるのかということ。くじけず、困難を乗り越えて、勇気と希望をもって生きる、そういうその人の生き方にこそあると思うのです。

私の将来の夢は、舞台上に立つ仕事に就くことです。人の前に立ち、この脚を見せること。いろいろと思う人はいるでしょうが、私は大好きな舞台上に立っていたい。人に感動を与えられる舞台に。そのために、私は努力を惜しみません。その努力こそが「私」という人間の価値だから。「リフカ」私、あなたと旅ができて本当に良かった。どんな逆境でも、明るさと勇気と希望を失わず、前向きに乗り越えていくあなたと。私もがんばるね。だから見て。これからも私が舞台上に立つ姿を――



非行・被害防止キャンペーン

今年度はコロナ禍の影響で、規模を縮小しての実施となりましたが、小中学校に向け啓発ポスター・標語の募集を行いました。臨時休校等の影響がある中で、二百点を超える応募があり、各学校や関係機関との連携・協働が今着実に進んでいます。

標語部門

*敬称略

インターネットの正しい利用

◎最優秀賞 ちよっと待ってその言葉はもう消えないよ

馬場 遥(岡方中1年)

◎優秀賞

どう思う? その一言を 見た人は

阿部 心春(有明台小6年)

あなただれ顔も名前もわからない 流しているの? 個人情報

川口 晴一(東青山小5年)

◎方引き防止

伸ばした手 物盗る前にストップを

◎最優秀賞 神原 蒼生(有明台小6年)

◎優秀賞 伸ばした手 止める意志を強くもとう

丸山 永遠(岡方中3年)

それでいい? 手をのばす前に考えて!

市川あさ美(東青山小6年)

ポスター部門

☆応募作品6点すべてが、奨励賞となりました。

(東青山小6年)

土屋 悠 諸橋 星菜

三木さくら 島中瑠妃菜

大和 七海 高橋 由衣

※新潟市青少年育成協議会は、新潟市からの補助金を受けて運営しています。